

ふるさとを愛し 心豊かでたくましく 未来を切り拓く 雲南市の人づくり

パブリックコメントによる 雲南市教育基本計画を策定

新しい雲南市の教育がめざすべき基本方向を明確にし、その実現に必要な施策を示した「雲南市教育基本計画」をこのほど策定し、公表することになりました。

本計画の策定には、今年1月に公募委員を含めた策定委員会を立ち上げ、3月末に計画案をとりまとめました。

その後、市のパブリックコメント制度によって、4月から1か月間の意見募集期間を経て、市民のみなさんから多くのご意見をいただきました。

そして、その意見を反映した計画が、5月の教育委員会定例会において承認されました。

今後、市教育委員会では、本計画に基づき、教育施策を展開していくこととなります。

また、施策の推進にあたっては、今後も市民のみなさんから様々なご意見をいただきたいと考えていますので、ご協力のほどよろしくお願ひします。

なお、住民から寄せられた意見や本計画は、雲南市ホームページに掲載しているほか、教育委員会事務局及び各教育分室において縦覧することもできます。

雲南市教育基本計画の概要

基本目標

**ふるさとを愛し 心豊かでたくましく
未来を切り拓く 雲南市の人づくり**

「ふるさと」とは、雲南市の豊かな自然や風土、伝統、文化、さらには地域の人々のやさしさや温もりを表し、「心豊かでたくましく」とは、自らを律しつつ、他人とともに協調し、思いやりや感動する心などの「豊かな人間性」と、継続的に物事を行うことができる精神的・肉体的に充実した「健康・体力」を表しています。

「未来を切り拓く」とは、将来の夢や希望を見出し、激しく変化する社会において、知識・技能に加え、学ぶ意欲や、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、責任を持って行動し、よりよく問題を解決する力をもって、「生涯学んでいく姿勢」を表したものです。

基本目標の視点

いきいきと学び、知恵と創造性に富む人づくり

人・ものとの出会いによる人間性豊かな人づくり

健やかな体でたくましく生きる人づくり

自然・伝統・文化を基盤として、社会の変化に対応して
生き抜く力のある人づくり

いきいき雲南

今、道路整備の財源をめぐっての議論が熱くなりつつあります。



道路特定財源制度は、揮発油税、自動車重量税、軽油引取税、自動車取得税等を財源とした、端的に言えば、自動車利用者が道路整備費を負担する制度ですが、この特定財源を一般財源化して他の事業にも使えるようにしようというものです。

国の平成17年度予算の一般公共事業費（75兆円）は、景気対策のための大幅な追加が行われていた以前の平成3年度（7.6兆円）の水準を下回ります。

ましてやそうした中での道路事業費では、地方の道路、当地域の道路事情の先行きは依然として期待が持てません。

平成の大合併では、昭和の大合併と比べて、雲南市のような広い面積の自治体が誕生しました。それを可能としたのは道路事情が良くなったことが大きな要因ですが、まだまだ道路整備は必要です。

合併は、行財政改革の一環であり、積極的な道路行政はそうした行財政改革の大きな手段です。

道路特定財源は、そうした道路整備に必要な不可欠な財源です。

（雲南市長 速水雄一）